



物流の2024年問題で私たちができること

4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用されることで、物流効率化などの取り組みが進まなかった場合には、荷物の配達に影響が出るなど物流が停滞することが懸念されています。私たちにとって身近な宅配便がコロナ禍から、ネットショッピングが急速に拡大し、リモートワークによる書類のやりとりなど宅配便の利用者が急増。その便利さから、コロナ禍があけた現在も利用者は多くいると言われています。そこで、今回のテーマ『**物流の2024年問題**』について私たちができる対策をご紹介します。

的確かつ効率の良い日時指定やオーダーを



- ◆再配達を減らす 確実に在宅する日時の指定を。また配送状況の通知アプリや宅配会社にメールなどを登録するシステムがあり、荷物が発送された後にお知らせが来たり配達状況を確認できるので、荷物が届く前に日時を変更することも可能。再配達を減らすことができます。
- ◆急ぎ便は状況に応じて使う お急ぎ便などオーダーした翌日に届く便利なシステムがありますね。しかし特に急いでいなければ、通常配送を指定することで、配送の混雑を軽減させることができます。
- ◆まとめ買いで配送回数を減らす 買いたいモノは、その都度するのではなく、ある程度まとめてすることで、配送回数を減らすことができます。

幅広い受取りスタイルを暮らしに合わせて選ぶ

置き配や宅配ボックスの活用を

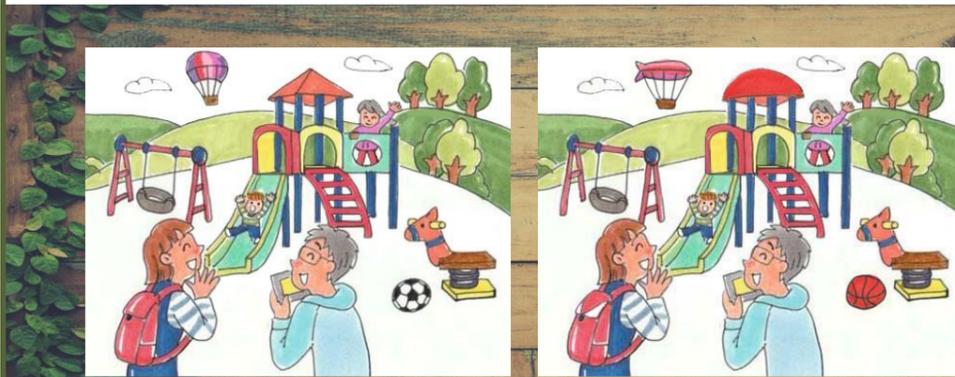
再配達の負担が減ります。雨風や防犯上、心配なら指定場所を車庫や物置など玄関以外にすることや、宅配ボックスの利用もおすすめです。

コンビニ受取りを活用する

自宅以外でも荷物を受け取れるスポットの選択肢が広がっていますね。中でもコンビニでの受取り指定は、幅広いサイトで指定が可能。ネット通販の企業によっては、コンビニ受取りを指定すると、送料無料になるところもあるので、手軽に持ち運べるものはコンビニ受取りにしてみるのも良いですね。

店舗受取りも便利

全国に店舗を展開している大手のファッションや雑貨メーカーなど、店舗受取り可能なところが増えています。指定すれば送料無料になることがあるのでおすすめです。最近増えている宅配ロッカーでの受取りも便利です。荷物を発送する場合は、事前に確実に在宅する日時を送り主が確認することも大切です。在庫管理をしっかりし、必要なモノをメモすることで、まとめ買いの際にも重宝します。



まちがい
さがし

5ヶ所あるよ！
答えは裏を見てね